◆◇◆◇ 6. アジア開発銀行 ◇◆◇◆

(1) 活動の概要

アジア開発銀行は、アジア各国を対象として、ALGAS（Asia Least-Cost Greenhouse Gas Abatement Strategy:アジア最小コスト温暖化ガス削減戦略）を実施している。1998 年には、各国レポート、サマリーレポート等が出版された。

(2) 森林・土地利用分野における活動の概要

ALGAS を実施している 11 ヶ国では、森林セクターにおいて GHG を大幅に削減する可能性がある（16 GtC）。最新の分析によると、ALGAS の 11 ヶ国の森林セクターは、低コストで GHG 吸収(削減)の機会を提供しており、多くは＄5/tC 以下であるといわれている。森林セクターにおける温暖化対策のオプションは' Win-Win'戦略であり、金銭的な利益を同時にもたらす。ALGAS11 ヶ国のうち、以下に示すとおり、バングラデェシュ、中国、インドネシア、モンゴル、ミャンマー、フィリピン、タイ、ベトナムが投資プロジェクトを提案した一方で、インド、韓国、パキスタンからの提案はなかった。なお、参考に、各国レポートにおいて検討されている森林･土地利用関連のプロジェクトの概要を次ページ以降の表に示す。これらのプロジェクトは、必ずしも以下のリストと一致しない。

1. **バングラデシュ**
   - 農村地域における改良型料理用コンロの普及
2. **中国**
   - 中国南部における木質バイオマス利用による電力生産
3. **インドネシア**
   - カリマンタンにおける村落周辺の森林の生物多様性保全
   - バタンガリ集水域における再植林・植林
4. **モンゴル**
   - 砂漠化緩和及び炭素保持のためのシェルターベルト
5. **ミャンマー**
   - 炭素排出量削減のための熱効率の良いコンロと参加型植林
6. **フィリピン**
   - ダバオにおける植林
   - 直接見積り法を用いた多様な樹種の CO_2 吸収固定能力の算定
7. **タイ**
   - 木質ストーブの効率改善と燃料木材用植林
   - プーケイオの保護地域における共同森林管理
   - 都市の植林と炭素の吸収固定
   - 東北タイの塩類集積地における植林
8. **ベトナム**
   - 炭素シンクの拡大と保全のための再植林

国名	部門	プロジェクト名	目的	目標/活動	期間	見積もり 予算［$］	潜在的な資金源	プラスの効果	予期される社会経済的影響	問題、リスク、必要条件
バングラデシュ	林業（資源保全）	農村地域における改良型調理器の普及	－ 1年間の薪炭材の全需要のうち約64%は村落の森林によって満たされている。主な目的は、私有地（homesteads）及び国有林双方の森林伐採を抑制することである。 － エネルギー効率の向上及びバイオマス燃料の節約 － 燃料にかかる費用を節約することによって農村地域の貧困層を支援する － 農村地域の調理場で働く女性の健康状況を改善する	100万台の従来型調理器を改良型調理器と交換する	1999-2004	燃料費を含めて5億3000万ドル（うち約52,416万ドルは、ICS利用者の燃料、労働、スペアのコスト）	バングラデシュ政府 GEF	－ プロジェクト完了後、CO_2換算で年間355万トンが抑制される。 － 森林資源が保全される。また、生態バランスを保ち、生物多様性を保全する。	－ 燃料の必要性を減らすことにより費用を節約する － 調理時間の短縮 － 女性の健康被害の低減 － 薪炭材の伐採減少による自然のバランスの利益	－ 動機の欠如により、現在の普及プログラムは適切に機能していない。 － 技術の普及プログラムを成功させるためには、草の根ベースの組織を巻き込み、活動を中央で調整する必要がある。 － 農村地域における動機づけキャンペーンの実行を保証するための政府とNGOの協力 － NGOが研修プログラムを組織することが望まれる。
中華人民共和国	林業	中国南部における木質バイオマス燃料発電所の建設に関する可能性調査	－ 発電のためのバイオエネルギー/薪炭材生産の試験を行う。 － 薪炭材による発電の可能性を実証する。 － バイオ発電のフィージビリティ及び潜在的な市場を評価する。 － 詳細な実施戦略及びスケジュールを構築する。		1999-2005	35万ドル	ADB(57%)、地元銀行(14%)、海外投資家(29%)	－ バイオマス発電を通じて硫黄含有量の多い石炭の消費（酸性雨の原因となる）を削減する。	－ 硫黄含有量の多い石炭利用に伴う健康被害の低減。 － GHG吸収源を増やし、化石燃料の消費を減らすために、生長の早い樹種に適した気候を活用する。 － 発電所が用いる木質バイオマスが山岳地域に存在するため、中国南部及び南西部における貧困層の低減に貢献する	
	農業	バイオガス－太陽エネルギーの統合利用	以下に示す目的のために、新しい太陽エネルギー設備とバイオガスシステムを有する家畜飼育場を再建する。 － 貧困の緩和 － 農村地域におけるエネルギー供給 － 環境保全、衛生状態の改善、生態系にやさしい農業	1. 家畜小屋20棟の建設（家畜頭数は1000から4000に増加すると予測されている。） 2. 2,200m³のバイオガスダイジェスターの建設 3. 家畜飼料の需要を満たすため、農場に醸造所を再建することにより、家畜繁殖の運営費用を削減する。		280万ドル	商業銀行24%、地方政府の低利子ローン26%、海外の銀行50%	－ CO_2、SO_2及びCH_4排出の抑制 － プラスの環境影響（土壌粒子構造の形成の改善；土壌間隙率の増加）	－ 貧困の低減 － 農村地域におけるエネルギー供給 － 環境保全及び衛生	
インドネシア	林業	スマトラ、Batanghari集水域における再植林及び新規植林	－ 炭素吸収の増加につながるような、クリティカルランド面積の低減もしくは森林被覆の増加 － 野生生物保護地域（サンクチュアリ）の増加 － 水文条件の改善 － 収入及び税収入の増加	森林地域のクリティカルランド23,000haを再植林し、非森林地帯のクリティカルランド10,200haを新規植林する。	1998-2004	5,007万ドル	インドネシア再植林基金、世界銀行、ADB	－ 森林被覆を16,200haから33,200haへ増加させる。 － 310万トンの炭素を抑制する。 － プラスの環境影響（土壌集積や水文の状態を改善することにより、侵食の低減、土地の生産性の改善、及び洪水被害の低減を行う）	－ 雇用機会の創出 － 森林ベースの産業・事業の開発及び森林からの収穫による地域コミュニティの収入増加 － 野生生物のサンクチュアリの改善及び生物多様性を保全するためのニッチの創出 － 環境質の改善（洪水被害の低減）	－ 直面するリスクは、森林火災、市場（プロジェクトによる製品の需要とそれに伴う製品の市場価格の変動）、組織及び資金の流れである。 － 現地の人々のプロジェクトへの積極的な参加及びプロジェクトによるプラスの影響は、このようなプロジェクトへの民間団体の参入あるいは独自の取組開始を促す可能性がある。

国名	部門	プロジェクト名	目的	目標/活動	期間	見積もり 予算 [$]	潜在的な資金源	プラスの効果	予期される社会経済的影響	問題、リスク、必要条件
インドネシア	林業	カリマンタンの森林地区村落におけるバイオ発電開発	– カリマンタンの10個所の森林地区にある50村落における、持続可能なバイオ発電システムによる電化 – 地域コミュニティがバイオ発電のために用いる“エネルギー森林”を育成するよう奨励する。 – 化石燃料を用いる発電による炭素排出を削減する。 – 森林使用権を有する企業が森林周辺のコミュニティの開発を促進する際に支援する。 – バイオ発電システムを運営し、運営上及び資金的な実施可能性と能力を立証する。 – GHG排出の大規模削減と、バイオ発電の大規模拡大のための、バイオ発電拡大行動計画を策定する。 – プロジェクトのGEFフェーズ及びそれ以降におけるバイオ発電システムの計画、指揮、運営、管理、及び国レベルにおける大規模な普及に向けた、制度的な調整	– 森林地区へのバイオ発電プラントの設置 – バイオ電力を利用した現地の人々への潜在的家内工業の導入 – 生物多様性を保全するための育苗及び植林に関する地元住民の研修・教育	1998-2002	1,000万ドル	森林使用権を有する企業(20%)、GEF (80%)	– 家内工業及び他の仕事の可能性の増加によるコミュニティの収入増加 – バイオ発電の導入は、主婦の労働を軽減し、世帯がプログラム（バイオ発電のための植林）に参加する動機づけとなる。 – 土地荒廃の低減は、土地の質を改善し、作物生産性を向上させる。 – エネルギープランテーションから得られる木質バイオマスは持続可能な方法で伐採されるため、炭素吸収は持続可能である。 – 地球規模での利益：炭素排出の削減；荒廃した土地の土壌及び植生によって炭素が吸収される；国レベルでの潜在的な炭素が抑制される。	– より多くの収入をもたらす家内工業を構築する、より多くの機会の創出 – 廃木材利用の増加及び汚染を低減するための廃棄物の経済的価値に関する地元住民の意識啓発 – ポンプ灌漑の開発を通じた作物収量の向上 – 廃木材の燃焼が大幅に削減されることによる森林火災のリスクの低減	
	農業	乳牛及び肉牛飼育システムからのメタン排出削減	– 飼料サプリメントの投与を通じて、乳牛及び肉牛から排出されるメタンを削減し、牛乳や肉の生産を向上させる。 – バイオガス生産に畜糞を利用する。 – 灯油及び薪炭材を節約して炭素排出を削減するため、バイオガスを調理に利用する。 – 作物生産において、養分の多い肥料としてバイオガススラリーを用いる。	– 農民に対して、メタン排出を削減する飼料サプリメントを継続的に製造・供給する。 – 飼料サプリメントの使用及びそれによる利益に関する農民への研修・教育を行う。 – 調理用バイオガスを供給するため、バイオガスプラント及び配管システムを設置する。 – 現地のBogor Dairy Cooperative及びJonggol Integrated Livestock Farmのメンバーに対して、バイオガスプラントの運転及び維持管理に関する研修を行う。	1998-2003	400万ドル	Bogor Dairy Cooperative及びJonggol Integrated livestock farm (100万ドル); GEF (300万ドル)	– 農家の収入が増加する。（飼料サプリメントは牛乳生産を6-22%増加させる。） – 調理用バイオガスを供給することは、主婦の労力を低減させ、各世帯の、特に既存の農民グループを通じたプログラム参加への動機づけとなる。 – 肉の増産は肉牛飼育による収入の増加をもたらす。 – 畜産部門からのメタンが削減される。森林シンクが保全される。	– 調理用バイオガスの供給を通じて、薪炭材を収集・利用するという労力をなくすことにより、女性の生活の質を改善する。 – 乳牛農家の収入増加は、飼料の消化のよさを向上させ、牛乳の増産となる。 – 飼料サプリメントの製造・供給及びバイオガスプラントの運用に関する雇用を創出する。 – バイオガスプラントのスラリーを肥料として田に施肥することにより、作物収量が向上する。 – 衛生状態を改善し、現状の畜糞の開放処理方法から生じる汚染を低減する。	
	農業	西ジャワのSawahにおけるメタン排出削減及び灌漑稲作のモニタリング・評価のためのキャパシティビルディング	– 米の増産にもつながる緩和技術を採用する。 – 技術を適用する前後において、各農業生態系及びKarawang地区から生じるメタン排出を定量化する。 – 技術が収穫量及び農民の利益に与える影響を評価する。 – メタン排出の測定、モニタリング及びマクロレベルの算定に関するキャパシティビルディングを増加させる。	米の生産を増加させ、GHG排出を削減するための新技術を採用する。		1,500万ドル		– ジャワのSawah区域500ha以上にわたる稲作地域に関する、地区レベルでの全GHG排出量の正確な算定が保証される。 – 改良型稲作、及びGHG排出削減に最も効果のある最適な稲作システムの設計を導入することによる、GHG排出の削減可能性を見積もる。	– 小規模土地所有者がプロジェクトを実施することで、米の増収による収入増加をもたらす。	– 追加的な設備として、化学物質、ガス、standard NO_x等の供給設備が必要とされると考えられる。

国名	部門	プロジェクト名	目的	目標/活動	期間	見積もり 予算 [$]	潜在的な資金源	プラスの効果	予期される社会経済的影響	問題、リスク、必要条件
韓国	農業	飼料の品質向上及びメタン抑制剤による、腸内発酵起源のメタン排出抑制	– 粗飼料の原料として、320万頭以上が消費する“わら”を化学処理によって改良する。 – わらを良質な粗飼料に替える。 – 反芻による腸内発酵を避けるため、飼料の蛋白質及びでんぷん質を、確実に消化されるように改善する。 – メタン生成微生物を抑制する天然添加物や化学物質を発見する。	飼料の質を改善することにより、生産量単位あたりのメタン排出を削減する。また、反芻の際のメタン生成微生物を抑制するための費用効果的な添加物及び化学物質を発見する。	1998-2002	40万ドル	韓国政府、農村開発局、外部資金	– 畜糞から発生するメタン及び土壌や水質の汚染が低減されると予測される。		– 添加物あるいは化学物質の利用による費用の増大は、何年間かはベイオフしない可能性がある。
		メタン排出の少ない品種の米の選定及び育成		– メタン排出の低い米の品種の選定 – 米の品種のメタン排出パターンによる分類 – イネを通じたメタン排出に関する品種の性質分類 – メタン排出の低い品種の育成	1999-2009	300万ドル	韓国政府（50%）、共同実施局（Joint Implementation Agency）	– 育種及び選定を通じたメタン排出の低い品種の米の採用は、メタン排出を20-30％抑制し、米の収量を5-10％増加させる。		– メタン排出の低い品種が市場価値の面で良質か否かという問題は、農民への普及にあたっての障害となる。
モンゴル	林業	南モンゴルの半乾燥地域における砂漠化進行抑制及び炭素吸収のためのシェルターベルト	– 砂漠化を防止あるいは抑制するために、砂漠化の影響を受けている地域の一部にシェルターベルトを設置する。 – 炭素の吸収を増加させ、植林地域及び草地の持続可能な管理を行う。 – 農村地域における生活環境を充実させ、選定した地域における局地気候を改善する。	– モンゴルの半乾燥地域にシェルターベルトを設置することによって、炭素吸収が増加する。 活動： – シェルターベルト設置に向けた行動計画の設計 – 苗を供給し、現地に小規模な育苗場を設置する。 – 半乾燥地の特定地域に、選定した樹種を植林する。 – 造林対策を実施し、シェルターベルトを発展させる。 – 森林管理及びモニタリング活動を行う。 – 現地の人々への研修プログラムを行う。		480万ドル		– 半乾燥地域における砂漠化及び土地荒廃を低減する。 – 土地利用を改善し、土地利用管理を実施する。 – 生態学的及び木材以外の利益を増加させる。 – 植林プログラムへの市民の参加が増加する。 – 現地の人々の生活環境を改善し、市民の意識を高める。 – 炭素吸収を増加させ、中央アジア地域における砂漠化を防止する。		
ミャンマー	林業	Shan州における燃料効率の良い調理器及び炭素排出削減のための森林活動への参加	– 適切な土地利用計画及びリモートセンシング、GISや現地調査を用いた森林地域のモニタリングに関するキャパシティビルディングを行う。 – 荒廃した土地における炭素を吸収するため、、20,000haの荒廃した森林地域にparticipatory forestsを創出する。 – 森林の炭素シンクを保全し、炭素排出を削減するために、400,000世帯の家計が改良型調ストーブにアクセスすることを促進する。	– 森林及び炭素シンクの保全 – 400,000台の改良型ストーブの採用 – 20,000haにおけるコミュニティ林業を通じた再植林 – 森林マッピング、モニタリング及び森林の植生状態の評価		1000万ドル	GEF/UNDP	– 薪炭材の切り出しを減らすことを通じて森林への圧力を低減することによる、森林炭素シンクの保全 – 効率の良い調理器を使うことを通じて薪炭材の燃焼を低減することによる、GHG排出の削減 – 森林の生育による荒廃地を再生し、炭素の吸収を導く。 – 炭素の保全及び排出削減	– 効率の良いストーブにより、女性の生活の質を改善する。 – 薪を集めるための努力を低減する。 – 薪炭材に対する支出を節約する。	– 年間80,000台のストーブと20,000haの再植林は、追加的な資金を必要とする。 – 改良型ストーブのプログラムを大規模に普及させるための制度的な協定を発展させるには、資金が必要である。
	農業	ミャンマーのShan州におけるGHG排出削減のためのバイオガス技術の普及	– 米生産において、発酵していない有機肥料と比べたバイオガス汚泥肥料の有効性及びメタン排出削減を示す。 – バイオガスを調理時に使う薪炭材の代替とし、炭素シンクとしての森林を保全する。 – 分散型バイオガス発電所を村落コミュニティへ提供することで、灯油の代替としたり、self-reliableな分散型発電システムの促進、村民の生活水準の改善を行う。 – 米生産における発酵していない有機肥料の使用から生じるメタン排出、及び照明用に使われる化石燃料（灯油）からのCO_2排出を削減する。	初年度は200、2年目は300、最終年度には500、合計1000のバイオガスプラントを設置する。	3年	900万ドル	GEF/UNDP	– 発酵した有機肥料の使用により、メタン排出を最大60％まで削減する。 – プロジェクト終了時には、6000haに対して十分なバイオガス汚泥肥料が存在し、10Ggのメタン排出が削減される。 – バイオガスの利用は、22トンの薪炭材及び1,500lの灯油を代替し、GHG削減を導く。	– 照明用及び調理用のガスを供給することにより、農村の生活の質を向上させる。	ミャンマー政府は、このような想定されている規模のプロジェクトを支援することができない。

国名	部門	プロジェクト名	目的	目標/活動	期間	見積もり 予算［$］	潜在的な資金源	プラスの効果	予期される社会経済的影響	問題、リスク、必要条件
パキスタン	農業	家畜の生産性向上のための改良給餌技術の普及	– Multinutrient Block (MNB)の使用によって家畜の生産性を向上する。（MNB の工場の設置） – 牛乳生産の改良された給餌による利益に関する、畜産農家の意識を啓発する。 – MNB の市場の創出	– より良質な飼料としての NMB の使用を通じて、腸内発酵から生じるメタン排出を削減する。	3 年	20 万ドル	民間企業（private enterpreneur）; GEF	– 改良された給餌及び MNB の使用によって、牛乳生産が 10％増加し、牛乳の脂肪含有量が 35％増加した。 – GHG（腸内メタン）の排出が 1 頭あたり 23％削減される。	畜産農家の収入が増加する。 改良された給餌に関する畜産農家の知識が拡大する。 家畜（livestock）の開発及び貧困の緩和についての政策及び戦略策定に関して、パキスタン政府を支援する。 民間部門における、資金的に viable であり、持続可能である農業ベースの事業を示す。	
		農業部門における太陽熱を利用した水ポンプの導入	– 農業部門で 10-20 馬力の tube well を用いることによってディーゼルの消費量を削減する。 – グリッドの拡大が実現可能でない遠隔農村地域への電力供給容量を拡大する – 再生可能資源に関する持続可能かつ低コストな代替技術の利用の促進及びデモンストレーションを行う。 – 技術及び技能の移転を可能にする。	– 農業部門に太陽光発電を導入する。 – 選定した場所におけるディーゼル燃料の消費を削減し、CO_2 排出を削減する。		600-900 万ドル	太陽光発電の経験を持つ海外の企業、パキスタン政府及び関連機関	– ディーゼルによって運転している tube well から太陽光発電による tube well への置換が成功した場合、デモンストレーション効果及び国の電力供給パターンへ与える影響は大きい。	環境に良い再生可能資源の利用を促進する。 遠隔地の中規模農家におけるディーゼル tube well の必要性をなくす。 飲料水の施設に応用することにより、地域コミュニティの社会経済的福利を向上させる。 燃料費用の負担を排除し，既存の技術を効率的で寿命の長い技術によって代替する。	
フィリピン	林業	直接算定方法を用いた様々な樹種の CO_2 吸収能力の算定	– 大気中からの CO_2 吸収容量が大きい樹種を鑑定する。 – 二酸化炭素吸収能力によって樹種を分類する。 – 各樹種の異なる樹齢及び環境条件における CO_2 吸収能力に関する包括的な生理学的研究を行う。 – パイロットスケールのプランテーションにおいて樹木の CO_2 吸収能力を算定する。 – 大規模な採用に向けて情報を普及させる。			55 万ドル	UNDP/RITE (第一フェーズ) AD/EC (第二フェーズ)			
	林業	Davao del Sur における炭素吸収源の保全及び拡大にむけた短期ローテーションの森林プランテーション	– 天然林/炭素シンクの保全及び荒廃した森林の炭素シンクの拡充を行う。 – malapaya 及び他の早生樹種を 24,000ha に育成する。 – 荒廃地の開墾/回復 – 現地コミュニティーの雇用機会の創出 – 土壌や水の保全及び生物多様性の拡充	短期ローテーションの森林及び活動の開発は、以下の事項を含む。 – 社会的な準備 – インフラ整備 – 育苗場の設置及び植栽株の生産 – 植栽した樹木の育成、維持管理、及び保護 – モニタリング、評価 – 伐採/マーケティング – 移植/再育成		280 万ドル	ADB	– 土地の開墾 – 多様性の促進 – 大気の質の改善	– 現地の雇用及び収入の創出	
	農業	米作地からのメタン排出抑制プログラム	– コンポスティング、硫酸塩肥料の使用、水管理及び短期耕作からなる、稲作における GHG 抑制オプションのための農場での実験及びデモンストレーションプロジェクトの実施	– メタン排出削減という環境目標を満たしつつ、米の自足を達成する。 – 2020 年までに炭素換算で 6,921 トンのメタン排出を削減する。		14 億 4200 万ドル	GEF, 政府			

国名	部門	プロジェクト名	目的	目標/活動	期間	見積もり 予算［$］	潜在的な資金源	プラスの効果	予期される社会経済的影響	問題、リスク、必要条件
タイ	林業	Phu Kheio の保護区域における共同森林管理	– プロジェクト用地における既存の天然林の保護・保全によって二酸化炭素の排出を削減する。 – 荒廃した森林の自然再生による吸収を通じて炭素シンクを創出する。 – 新しい林業技術を用いた、荒廃した森林地域の再植林・新規植林により、炭素吸収率を向上させる。 – 経済的インセンティブを用いて、現地のステークホルダー及び民間部門の、天然林及び人工プランテーションの管理への参加を促進する。	– ステークホルダーの森林管理への参加を拡大する。	5 年	300,000 ドル	American Forest, DANCED			– 森林技術（特に、新しい苗木の 1 年生存率を向上させるポスト植栽技術）の移転には技術援助が必要とされる。 – 規制は、産業及び民間の個人が炭素シンク創出において大きな役割を果たすことができるように修正される必要がある。
		都市冷却のためのエネルギー需要削減及び炭素吸収源拡充のための都市部における森林活動：バンコクメトロポリタン地域における植樹	– 炭素シンクを促進し、バンコク及び周辺地域のエネルギー需要を削減する。	– 選定された場所・地域により多くの樹木を植栽し、放棄した土地を近い将来に使用する予定のない土地所有者の協力を求める。	3 年	933,757 ドル	UNDP, American Forest, GTZ	– レクリエーション及び他の非経済的価値 – エネルギーの節約（樹木及び緑地によって熱が吸収される；陰で覆われた建物では空調に必要なエネルギーが少なくて済む。）		
		タイ北東部における塩類集積地（Saline land）の植林	– 塩害の拡大を防ぐために植林を行う。	– タイ北東部の県において、1,120ha の塩害で荒廃した土地を再植林する。	5 年	110 万ドル	GEF, UNDP	– 炭素吸収及び木材による利益		
	農業	メタン排出削減のための化学的処理	– 米の生産及び GHG 排出に関して、農民に対する研修を行う。 – 硫化アンモニウムの使用に関するパイロットプロジェクトを助成する。	– この問題を扱う政府の政策決定によって生じる脅威の可能性に関して、米農家の意識を啓発する。	1 年	405 万ドル	GEF, UNDP			
ベトナム	林業	Lang Son 及び Ha Bac 県における炭素吸収源の保全・拡充のための再植林	– 上流域の森林を保全し、荒廃した森林の炭素シンクを拡充する。 – 12,500ha に Pinus massoniana 及びその他の樹種を育成する。 – 少なくとも山岳地帯に暮らす 10,000 世帯のための雇用機会を創出し、再植林及び林業に従事させる。 – 土壌・水を保全し、生物多様性を豊かにする。	– 天然林への圧力を低減することにより、炭素シンクを保全・拡大する。 – 現地の再植林及び森林保全を強化する。 – 山岳地帯の世帯へ雇用を提供する。 – 上流域の森林を保全し、土壌浸食を防止する。 – 現地の少数民族の移動耕作を減少させる。	4 年	280 万ドル	ドイツ政府(85%), ベトナム政府 (15%)			リスク： – 松（pine）の病虫害の発生 – 森林火災 – 木製品の価格変動
	農業	Red River デルタの米作地における CH_4 排出削減のための水管理	– 米の生産性を維持しながら、田圃からのメタン排出を削減する。 – 国内の消費及び輸出需要の増加に対応して、米の生産を増加させる。これは、現地の人々の生活を改善する間接的な効果を持つ。 – 推奨された取組が農民にとって費用効果的かどうかを決定するためのデモンストレーションプロジェクトを行う。 – 農業管理者及び農家へ取組を移転する。	– 田圃からのメタン排出を削減する。 – 人々の消費増加に対応して、米の生産を増加させる。	3 年	150 万ドル	GEF			リスク： – 台風、洪水、旱魃等の水害が実地試験に影響を与える。 – 農家からの投資の欠如